

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

阪南市立 児童発達支援センターたんぼぼ園



○事業所名	阪南市立 児童発達支援センターたんぼぼ園			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 12日		～	2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 9月 29日		～	2025年 10月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 29日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくれる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	こども一人ひとりに対して充実した支援が施されており、保護者様も実感しております。 当園での様子だけでなく、送迎時に支援状況などを詳細に伝達しております。	朝礼時のみならず、一日のなかで職員間で連携を図っている時間が多くあると思っております。 業務効率以外にもよりよい支援ができるよう、それぞれの観点から全員が意見できるような会議体勢をとっております。	さらに充実を図るための取り組みとして、事業所内で療育相談会、勉強会を開始しております。 知識が豊富になることで視点が広がり、より成長に繋げることができると考えております。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や保護者間との交流機会が少ないこと、非常時の対応について周知が少ないことが課題だと感じております。	地域や保護者間での交流については機会を設けられていないこと、非常時の対応については紙媒体での案内のみとなっております。	11月から保護者、児童参加型のイベントを開始する予定となっております。 今回は地域の歯科医をご招待し口腔育成や当園の理学療法士から運動療育についてとなっております。 その後保護者間での交流会を設けております。 このような形で非常時の対応についても周知していくことも検討しております。
2			



公表日: 令和 8年 4月 28日